

# JavaScript

データ型(数値・文字列・論理値)

## 3 時間目

プログラミング言語を学ぶ上で、「データ型」という言葉は覚えておく必要があります。  
ここでは3種類を覚えておきましょう。

## プログラムは様々なデータの種類がある

- ① 数値 （1、2、2.3、100 など）
- ② 文字列 （internous、プログラミング など）
- ③ 論理値 （True、False）

## 数値とは整数や小数点を使った数字のこと

script.js(JavaScriptファイル)

```
document.write( 12345 );
```

数値を表示するときは  
ダブルクォーテーションはつけません。

**12345**

script.js(JavaScriptファイル)

```
document.write( 3.14 );
```

整数だけでなく、少数点を表示することも出来る。



**3.14**

script.js(JavaScriptファイル)

```
document.write( -24 );
```

マイナスも表示できる。

**-24**

# 文字列とは

文字列とはアルファベット・日本語・数字の集まりのこと

script.js(JavaScriptファイル)

```
document.write( "Hello" );
```

文字を表示するときは  
ダブルクォーテーションをつける。



**Hello**

script.js(JavaScriptファイル)

```
document.write( "おはよう" );
```



おはよう

script.js(JavaScriptファイル)

```
document.write( "2017" );
```



2017



script.js(JavaScriptファイル)

```
document.write( "2017年" );
```



2017年

論理値とは「true」か「false」どちらかの値

$x=5$

$y=5$

$x == y$  は論理的にはTrueである